

# Thermal Cycler Dice Real Time Systemシリーズ

## 検便検査のための操作マニュアル

### －TaKaRa腸管系病原細菌遺伝子検出キット（RR139A）専用－

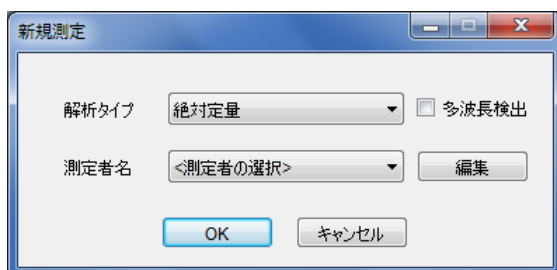
このマニュアルでは、TaKaRa 腸管系病原細菌遺伝子検出キット（製品コード：RR139A）を用いてリアルタイム PCR を実施する際の操作方法を説明します。

#### 装置とソフトウェアの起動

- 1 Thermal Cycler Dice Real Time System 本体の電源を ON にする。
- 2 コンピューターの電源を ON にする。
- 3 食品環境検査用ソフトウェアを起動する。

#### ランファイルの作成とランの開始

- 1 ランファイルを新規作成する。
  - 1.1 解析タイプから絶対定量を選択する。
  - 1.2 OK ボタンをクリックする。



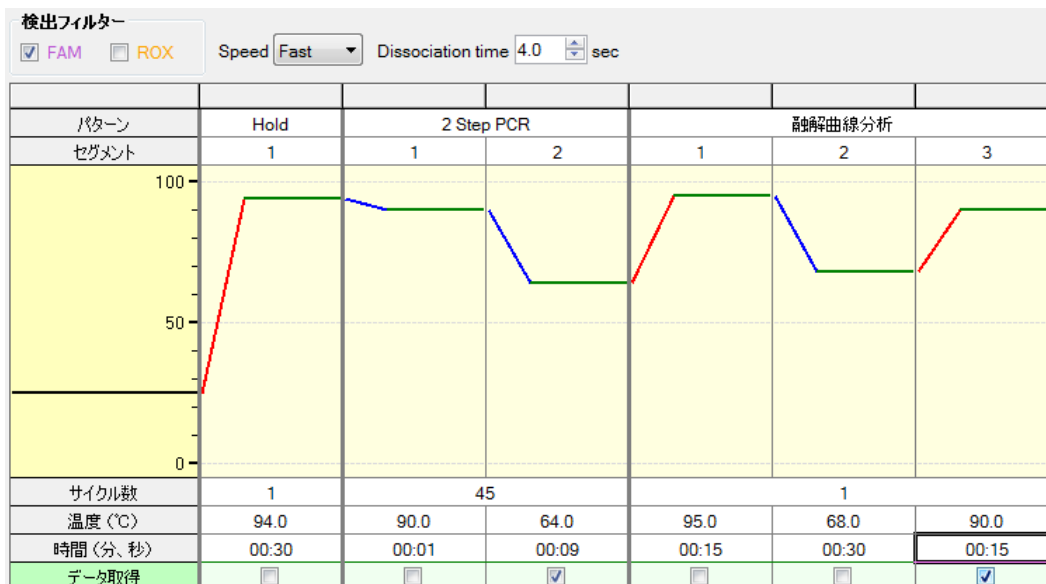
- 2 反応条件設定画面で PCR 条件を設定する。
  - 2.1 検出フィルターの FAM にチェック✓を入れる（ROX のチェック✓を外す）。
  - 2.2 Hold は、94℃、30 秒の設定にする。
  - 2.3 2 Step PCR のサイクル数を 45 に変更する。
  - 2.4 2 Step PCR のセグメント 1 を 90℃、1 秒に設定する。
  - 2.5 2 Step PCR のセグメント 2 を 64℃、9 秒に設定する (Thermal Cycler Dice Real Time PCR System III の場合)。

#### 【注意】

Thermal Cycler Dice Real Time PCR System II の場合は、データ取得の✓を外

し、64°C、1秒に設定します。

- 2.6 融解曲線分析のパターンを追加する。
- 2.7 融解曲線分析のセグメント 2 の温度を 68°Cに変更する。
- 2.8 融解曲線分析のセグメント 3 の温度を 90°Cに変更する。



※上図は、Thermal Cycler Dice Real Time PCR System III の設定例です。

- 3 サンプル設定画面でサンプル情報を入力する (ラン終了後に行っても良い)。

- 3.1 画面右上の入力ボタンをクリックする。
- 3.2 該当するウェルを選択し、サンプルタイプを選択する。

NTC : 陰性コントロール  
 STD : 陽性コントロール  
 UNKN : 検査対象サンプル



- 3.3 必要に応じてレプリケート設定を行う (省略可能)。
- 3.4 必要に応じてサンプル名を入力する (省略可能)。  
表示切替の「名称」を選択すると下図のような表示になる。

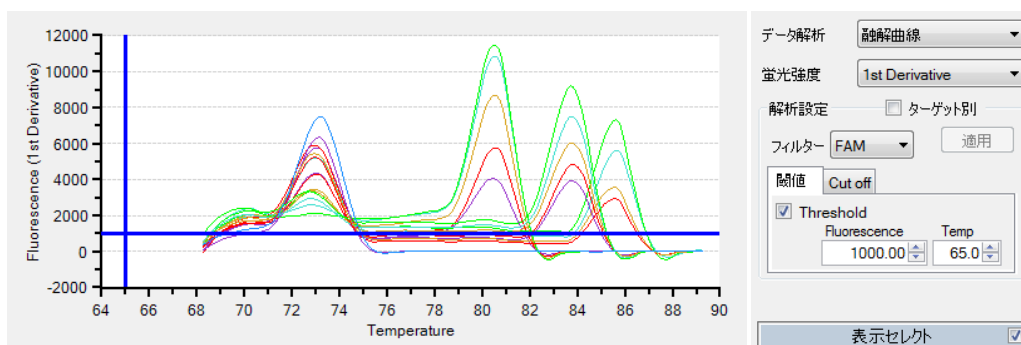


- 4 反応条件設定画面でランを開始する。
  - 4.1 反应用的チューブ（またはプレート）を本体にセットする。
  - 4.2 画面右下の反応開始ボタンをクリックしてランを開始する。

## 結果の解析

### 解析パラメーターの確認

- 1 融解曲線を表示させる
  - 1.1 検出フィルターの **FAM** ボタンをクリックする。
  - 1.2 データ解析から融解曲線を選択する。
  - 1.3 表示セレクトで解析対象のウェルを選択する。
- 2 閾値の設定
  - 2.1 縦と横の閾値をノイズレベルの小さなピークがない範囲に設定する。
  - 2.2 適用ボタンをクリックする。



## ソフトウェアと装置の終了

- 1 食品環境検査用ソフトウェアを終了させる。
- 2 コンピューターを終了させて、電源を切る。
- 3 Thermal Cycler Dice Real Time System 本体の電源を切る。